

店頭から
「こんにちは」

第99回

餌同然のものしか与えられていない子どもたち 子どもたちの貧しい食生活の実態

日本では、食べものには困らないほど、飽食の時代といわれています。
ただ、家庭で料理をする機会は減り、お弁当と縁がなくなる傾向も…。

動物の餌よりひどい？

ちょっとした町並みがあると、必ずコンビニエンスストアがあります。

昼休みの時間帯ともなれば、“コンビニ弁当”を、駐車場に置いた自動車の中で食べる人で、いっぱいです。

しかも、どうやら、お弁当を作ってもらえないのは、お父さんたちだけではなさそうです。

先ほど来られた女性。児童館でアルバイトをしていたとき、来館する子どものお弁当を見て、びっくりしたそうです。

コッペパンに切り目が入っており、赤いものが見える。よく見ると、ケチャップだった。野菜も、ハムも入っていないのに、ケチャップだけとは…。

「動物の餌よりひどい」

切なくなってきたとのことでした。「不登校とか、適応障害とかは、食事が関係ありますよ、きっと」という私の言葉の次に、出てきた話です。

なるほど、その子の髪はバサバ

サ、皮膚の色も正常ではないとか。たまりかねて、母親に、「冷凍食品でもよいから、ぜひおかずをつけてあげて」とお願いしたそうです。すると、翌日から、冷凍食品がボロンと入っていたとのこと。まるで、「うるさいから入れてやった」とでも、いわんばかりに。

さらに、「エネルギー不足で運動する気力も出ない子どもたちを遊ばせると、転ぶときに手が出ない。だから、顔面をもろに床にぶつけてしまう」とも。

小・中学校の給食が、1日の必要カロリーを摂取できる唯一の食事。そのため、夏休み明けには、暑さによる夏痩せではなく、給食で栄養をとれずに痩せる子どもたちがいるともいいます。

給食制度のいいところでもあり、そうでもないような。

食パン1枚だけとは…

ある日、幼稚園に従事している方から、相談がありました。

「幼稚園児ですが、皮膚を丈夫にするおクスリはありますか？ 皮膚病が出ていて、皮膚科にかかっ

ているが、まったくよくなりませんから」とのこと。

「好き嫌いがあって、野菜嫌いではないですか？ 肉とかお菓子、甘いものばかり食べていないでしょうか？」とお聴きしました。

すると、何と食事は、食パン1枚だけだそうです。

そこで、「皮膚も、丈夫になるどころか、潤わないし、現代の栄養失調です」とお教えしました。

世の中、便利過ぎて、お金さえ出せば食べものが買える。しかし、買うことのできない子どもたち。

要は、愛情の感じられない、餌同然のものしか与えられていない子どもたちもいるという事実を、知っていただきたいのです。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ

宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。

「3月でも冷えにはご注意ください」

